

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
 大字金木字朝日山323
 電話 ☎ 2111 内線240

地元川倉クラブ優勝

Ⓞ青森県少年野球学童の部Ⓞ



主な内容

○ 県学童野球 地元勢同士の決勝	P 2	○ 町生涯 スポーツ推進事業	P 6
○ 新成人131人誕生	3	○ 金木ロータリークラブ 喜良小に一輪車寄贈	7
○ 学校部活動紹介	4	○ お知らせ	8~9
○ 金木夏まつり	5	○ 金木病院カルテ	10

人口と世帯

	8月末現在	前年同月比
男	6,466人	△ 67人
女	7,042人	△ 66人
計	13,508人	△133人
世帯数	3,902	△ 11

県学童野球地元勢同士の決勝 川倉に軍配

決勝

川倉	0	0	0	0	0	0	1	1
金木	0	0	0	0	0	0	0	0

青森県軟式野球連盟主催の第二十回青森県少年野球大会学童の部の大会が八月十七・十八の二日間にわたってあしの野球場、金木中学校野球場を使って行われました。

この大会には県内十二地区の子選を勝ち抜いた十三



▲7回表中谷貴昌君決勝の左翼線二塁打を放つ

チームが参加して青森県一を決めるもので、北郡地区代表として地元から川倉クラブと金木クラブの二チームが出場とあって、観客も興奮ぎみに身を乗り出し、白球の行方に声援を送っていた。

田クラブ(東部地区代表)を二〇、二回戦岡三沢クラブ(三沢地区代表)を六一二、準決勝みなみクラブ(五所川原地区代表)を六一三と勝ち進み、また、金木クラブは二回戦から登場となり、浪打小クラブ(青森地区代表)を五一三と下し、準決勝では船沢クラブ(弘前地区代表)に五一二で勝ち、結果、地元金木勢同士の決勝となった。

決勝では川倉クラブ中谷幸治君、金木クラブ原田一範君の両エースが序盤から絶好調。そして堅実な守りと相まって五回まで三塁を踏ませない状況。そして六回裏、金木クラブが初めて三塁までいったが後続がなく惜しくも点入らず。「ピンチのあとにチャン

スあり」の言葉どおり続く七回表、川倉クラブが四球で出たランナー工藤晃大君が挟殺プレーくずれて二塁に残ったこのチャンスに、三番中谷貴昌君が三塁手の頭上を越える左翼線適時二塁打を放ち、これが決勝点になった。

北郡代表が優勝、準優勝に輝いたのは初の快挙であり、両クラブに対してはおしめない感動の拍手が送られた。

この大会でのもう一つの話は、参加選手中の紅一点、川倉クラブ白川薫選手の動向。本来は正選手なのだがこの夏はソフトボールの試合があり、自らも主将であるため、野球の練習が出来ずボールを握ったのが一週間ほど前であったために、控えに回っていたものの、スラリとした長身と可愛い笑顔には打席に立つ度に観客から盛んな拍手が送られていた。

地元金木勢同士の決勝、女の子選手の出場と、話題と盛り上がり事に事欠かない大会であった。

米の売りの買いは、正規のルートを守る

ヤミ米を追放しよう

今年の稲作は、皆さんの栽培管理のご努力と好天候に恵まれたことから、豊作が予想されており、米の検査業務にたずさわるものとして、心からおよろこび申し上げます。

特別集荷制度を活用して正規の売渡しをすることが食糧管理制度を維持することにもなりますので、適正集荷に御協力下さるようお願いいたします。

さて、米の適正な流通を確保するため、国、県、市町村、生産者団体等が一体となって不正規流通米(ヤミ米)を防止し、全量集荷の運動を展開してきたところであります。

なお、本年産米から農産物検査法の規格規程が一部改正され、青森県の場合は産地品種銘柄としてムツホナミ(現行)に、むつほまれ(四類地帯のもの)、アキヒカリが指定され、さらに、政府米の産地品種別管理が実施されることになりました(むつおきも別管理)。

国民の主食である米については、食糧管理制度により政府との契約数量は、全量売渡しすることになっていきます。

従って、検査は品種別検査となりますので、刈り取り、脱穀、もみすり等については、区別して行い品種別に出荷してください。

また、農家保有米を除いた余剰米(超過米)は、生産者の希望により代表者名(名前を出さない)で、而も、集荷登録に関係なく県内の一次集荷業者を通じて売渡しのできる「特別集荷制度」が六十年産米から実施されています。

くわしいことは、食糧事務所五所川原支所(電話番号三五二一三八)又は、最寄りの集荷業者へお尋ね下さい。

平成元年度 131人 成人を祝う会

新成 誕生

金木町成人を祝う会が八月十五日中央公民館で開かれ、新成人百三十一人が出席して祝いの門出に決意を新たにしました。

式では、大橋町長が「二十歳を迎えるの新たななる飛躍を期待し、これからも頑張ることを望みます」と挨拶があった後、嘉瀬東町の小松かずみさんが「これからは新成人としての自覚をもって



▲謝辞をのべる小松かずみさん

金木町に調和する町づくりや、ゆとりのある楽しみながら生活できる金木町になるよう努力します」と謝辞をのべた後、「二十歳の主張」へと移り、金木南新町の横野裕丈さんと川倉上宇田野の泉谷剛さんが熱弁をふるった。特に泉谷剛さんは、若き農業後継者の立場から今の厳しい農業情勢や未来に向けての農業について訴えながら、これからの社会への役割について大いに語った。

その後、懇親会に入ると緊張していた顔もリラックスし、隣同士、または久しぶりに見る顔同士肩を叩きあったりしながら懇談していました。

また、アトラクションでは金木太宰ふるさと会による奴デイスコが披露され、会場からヤンヤの喝采が送られていました。

総勢六十一名

みんなケツパル

県民体育大会

第四十四回市町村対抗県民体育大会が八月十九・二十日の両日八戸市において開催され、当町からは選手役員総勢六十一名が競技に参加、地元の期待に汗を流しました。

手に団旗が手渡され、同じく軟式庭球工藤文久監督が「日ごろ鍛えた技と力を十二分に発揮し、金木町の榮譽とスポーツ発展のため頑張ってください」と誓いの言葉をのべ締めくくった。

参加選手および入賞者は次の通り。

◎参加選手

*陸上競技
山本美雪、小林美香、泉谷ゆかり、中谷広美、泉谷慶志、田中二三猛、福



▲誓いの言葉をのべる工藤文久君

士嘉雄、棟方久幸、中谷弘通、中谷委弘

*相撲競技

工藤弘美、平川久一、原田雄大

*柔道競技

大川竹光、金本敬夫、山崎憲一、荒関正一

*ソフトボール競技

木下香、鎌田高子、工藤準子、桑田恵子、田中二紀子、古川真由美、今弘美、加賀谷みちよ、蒔田幸子、齋藤保美子、齋藤理加

*軟式庭球

大井英明、角田憲美、工藤孝、長利育美、工藤由賀子、長尾久美子

*テニス

夏坂泰寛、伊藤一二三、阿部陽一、今重彦、野村ゆうこ、野村しのぶ

◎入賞

*ソフトボール

女子準優勝

*軟式庭球

大井英明・工藤孝組 準優勝

*陸上競技女子砲丸投げ

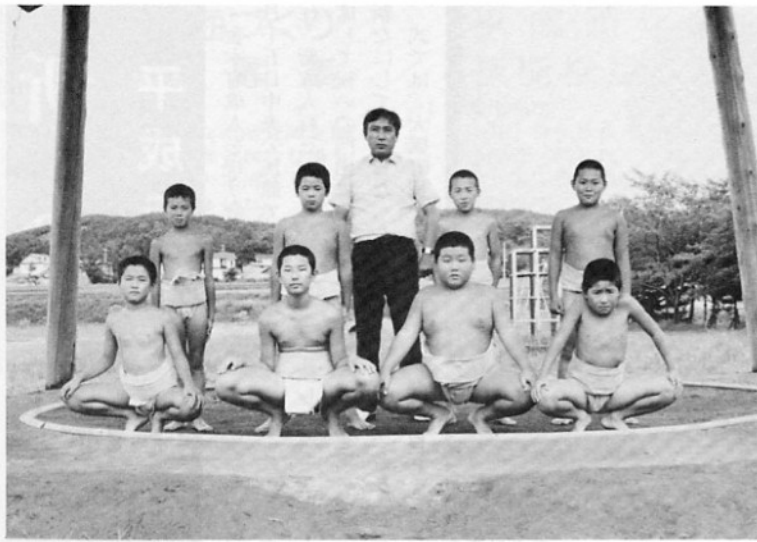
田中二紀子 第二位

*陸上競技

女子四百リレー 第五位

学校部活動紹介③

喜良市小学校 相撲部



▲喜良市小相撲部

ぼく達の学校の相撲部は、六年生がぼく一人で、あと四年生が、木田隆紀、藤元新、桑田貴幸、鳴海竹織、今賢二、桑田久光、桑田拓也で、合計八人です。

そのうち、去年から相撲をやっている人は、二人しかいません。練習時間は、午後の四時ごろから始めて、六時ごろまでやっています。コーチ

はPTA会長の木田さんで、いつもきびしく教えてくれます。

初めは、まわしもうまくしめれないで、とても時間がかかりました。

今年は六つの大会に参加しましたが、五年生、六年生がいなかったので団体戦ではずい分困りました。

でも、みんなよくがんばりました。今泉の大会では、木田隆紀が前に出る相撲で三位に入賞できました。

春からみると、みんなとても上手になって、コーチや監督からほめられています。

ぼくは、六年生で一人しかいないので、特になんばらなければと思ってやってきました。

ぼくが卒業すれば、来年は六年生がいなくなるので、もつと相撲部に入る人がふえて欲しいと思います。

でも今四年生は、みんな一生けん命で、よくがんばっているの、来年は、もつと活躍してくれると思っています。

相撲部代表

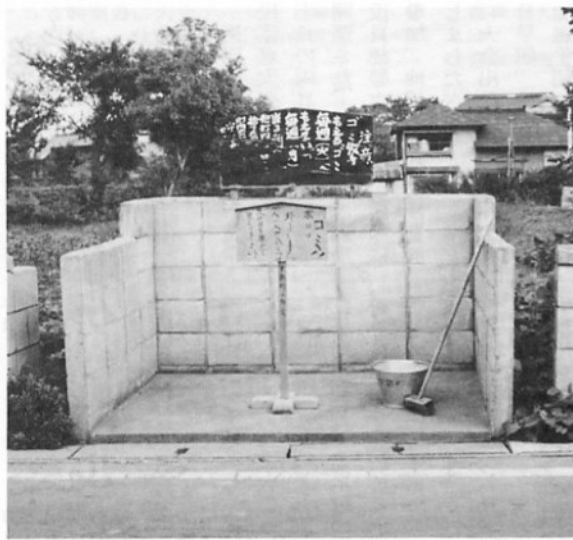
六年 古川真司

守られていますか？ ごみ排出のきまり

家庭系の排出ごみは、決められた日時に「燃えるごみ」と「燃えないごみ」を分別し、町内会毎に「ごみ集積場所」へ排出することになっています。

現在、町全域で三〇四箇所のゴミステーションが設置されていて、町内会毎に立派な施設や看板をつくり、決まりごとを完全に守っているところと、余り守られていないところがあります。

ていなところがあります。写真は、嘉瀬地区の新町々内会の集積場所ですが、ごみの不法排出のないよう、お互いに注意しあい、いつも清潔を保っています。これは町内会組織や活動が上手に行なわれている一例ですが、ごみ集積場所全てが決まりを守って排出されたら環境衛生美観に役立ち、と間違いないと思います。



▲新町々内会の集積場所

10月は 国民年金制度 推進月間です

国民年金が施行されて今年で三十年となります。

国民年金は、昭和六十年四月に、基礎年金の支給という国民対象の制度として、大きく生まれ変わります。ますます身近な年金制度となりました。

本格的な高齢化社会への突入という時代に生きる皆さんにとって、老後の生活を考えるとき「その生活費に充てるための収入の主な手段は何か」が一番切実な問題ではないでしょうか。その年金も、加入し、保険料を納めることによって支給されるものです。

十月は国民年金制度推進月間として、国民年金に対する正しいご理解とご協力を積極的に求めることとしておりますので、この機会に、もう一度、あなた自身の「年金」を点検してみてください。

▼小中学生による“奴流し踊り”



惜しみゆく夏 ほとばしるエナジー 金木夏まつり

夏の恒例行事、金木夏まつりが八月十五日から十七日までの三日間開かれた。まつりは、県の無形文化財の奴踊りやネブタ運行、納涼カラオケ大会、町内小学校相撲大会、それにまつりの目玉、特別公演、渚ゆう子歌謡ショウなど、多彩な催し物でお盆帰省中の人を含めて大勢の人出でにぎわった。



▲下町“左甚五郎”



▲若松町“三国志”

ねぶた競演!!

▼金木農協“三国志”

▼朝町“三国志”



▲上町“三国志”

▼新富町“三国志”



▲正調“奴踊り”



▲山道町“維新の嵐”

金木町生涯スポーツ推進事業③ 少年剣道教室 少年バレーボール教室



▲打ち込みの練習をする生徒たち

六月六日(火)から六月二十七日(火)まで金木共同高等職業訓練校講堂において、少年剣道教室が開催されました。

参加もあり、楽しい雰囲気の中、静から動への精神、体力が一体となつた激しく、厳しいスポーツですが子供達には魅力があ

るようで、最初打たれて泣いていた子供もこれからはともっと稽古して強くになりたいと元気に声を張り上げていました。

また、七月十四日(金)から農業者トレーニングセンターと金木中学校体育館を会場に少年バレーボール教室が開催されました。

今年度は中学生を主体として行われ、参加した生徒の中には技術のすぐれた子もいましたが大部分の子がボールに身体がついてゆけず、基礎体力の大切さを勉強したようでした。

また、指導にあたったバレーボール協会(代表・伊藤則子)のメンバーは将来の「オリンピック選手」とまでいえないが、金木町のバレーボールの普及のため、ぜひ力をつけてほしいと熱心に基礎プレーを指導していました。

(中央公民館 大橋聖彦)



嘉瀬老人クラブ

手作りぞうきん寄贈

嘉瀬老人クラブ(木村金利会長)が八月二十八日、第三保育所、嘉瀬小学校、金木南中学校を訪れ、ぞうきんを寄贈、大変喜ばれました。

この日、贈呈に訪れたのは白川ミツさんと鳴海タネさんの二人で、嘉瀬小学校では原田校長から「タオルで作った手づくりぞうきんのほうが水をよく吸い、市販のぞうきんなどより大変使いごちがいい。何時も

有難うございます」とお礼が述べられ、また、金木南中学校では、土岐進栄生徒会長が立ち会い、「ありがとうございます。すぐにも使わせていただきます」と元気な声でお礼をしていました。

ぞうきんの寄贈は今年に入って二回目、これはクラブ員達が自分達でなにか社会に還元できるものはないかということで、各自が自宅で余ったタオルを使っ

て作ったもので、これを各人が持ちよって寄贈しているものです。

「これからも少しではあるが続けていきます」と話していた。

●ワンポイント知識● 化学バルブと 機械バルブ

新聞や雑誌、封筒や便箋など、私達の回りには様々な種類の紙があります。これらの紙は木材から作られる「バルブ」が原料です。バルブは大きく分けて「化学バルブ」と「機械バルブ」があります。化学バルブは木材を砕いたチップ(木片)に含まれているリグニン繊維を化学処理によって取り除き、加工したものです。これはノートや本などに幅広く使用されます。機械バルブは、原木を機械的に処理し加工されたバルブです。これを紙にすると、化学バルブで作られた紙に比べ、紙面が黒っぽいのが特徴です。新聞紙やざら紙はこの機械バルブを使用しています。

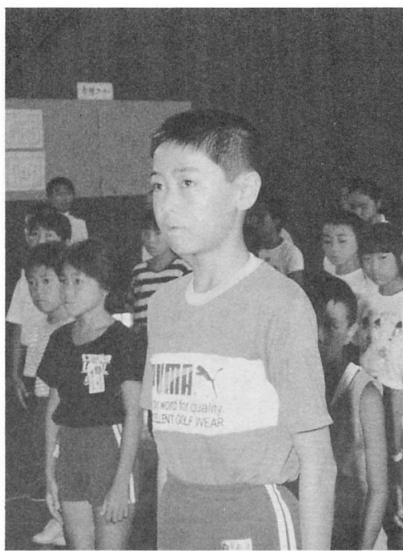


▲鳴海タネさん(右)と土岐生徒会長

金木ロータリークラブ

喜良市小に一輪車寄贈

社会奉仕を基本理念とする団体、金木ロータリークラブ（木村裕悦会長）が、喜良市小学校（鎌田連二校長）に一輪車十二台を寄贈して児童達に大変よろこばれました。



▲お礼をのべる今祐介児童会長

この寄贈は同クラブ内の社会奉仕委員会（松島恒栄委員長）が中心となって社会奉仕活動の一環として行ったもので、喜良市小学校体育館で行われた贈呈式には、木村会長、松島委員長等四人が出席。木村会長が「ロータリークラブのメンバーには誰も乗れる人がいないが、小学生のうちから

一輪車に乗れるようになれば平衡感覚が培われ、ひいては身体全体のバランスがよくなる非常にいい乗り物です。全員が頑張つて乗れるようになってください」と挨拶。

それに答えて、今祐介児童会長が「バランス感覚を養い、運動神経が発達するよう頑張ります。ありがとうございます」とお礼の言葉をのべた。

その後、インスタラクターによって基本的な乗り方の実技があり、児童それぞれおっかなびっくり一輪車に初乗りしていた。

来年もまた元気な顔で

出稼者安全就労と留守家族激励会

今後にさまざまな問題を持ちながらも年間三十億円ともいわれ、町の米の生産量にも匹敵するほどの基幹産業に成長した出稼ぎ。

その出稼ぎ者達の組合、金木町出稼就労者組合の定時総会および「出稼者安全就労と留守家族激励大会」が、八月十六日中央公民館で開かれました。この組合は、出稼ぎ就労者の自主的な活動により明るい健全な出稼ぎを実現することを主目的として設立されたものです。

総会では、賃金の不払いなど今後の出稼ぎ問題や出稼ぎ訪問の予定、金木だよりの発送状況などいろいろな問題が提起され、活発な意見交換がなされました。

総会後、出稼ぎ者安全就労と留守家族激励大会が開かれ、町長が「家



▲出席者を激励する町長(中央)

族と離れて暮らすのは精神的に負担がかかり、辛いものだが、来年もこの場で皆さんと顔をあわせたいものです」とあいさつした後、伊藤町議会議長が「今日の情勢においては企業誘致が必要であり議会においても企業誘致委員会をもって対処推進したい」とのべられました。

その後、懇親会に移り民謡や手踊りに見入り、日ごろの疲れをいやしていました。

法の日の

を迎えて
10月1日から7日は「法の日」週間です

毎年十月一日は、「法の日」です。この機会に「自由」の意味と「法」の役割を考えてみませんか。《個人の自由と法の支配》個人の自由が保障されていることは、民主主義社会の生命ともいうべきものです。その自由は、各人が勝手気ままに振る舞う自由を意味するものではありません。他の人々も自分と同じだけの自由を持っているのですから、すべての人の自由が平等に尊重されるよう各人の自由の共存が図られなければならない。法はこの自由の共存を図るため

に重要な役目を果たしています。そして、民主主義国家の法は、個人の自由を単に隣人の侵害から守ることを目的とするだけでなく、同時に、国などの違法な行為からも守る役目を持っています。また、法は、いかなる暴力も否定します。暴力の肯定は、法を軽んじ、自由を放棄することにつながるからです。このように法によって、基本的人権を擁護し、社会秩序を確立することを「法の支配」といいます。

《「法の日」とは》この法の支配の確立は今後の国際社会においても世界平和を樹立するための重要な基盤となるものです。このような法の支配の重要性を国民の皆さんに理解していただくことを目的として、制定されたのが「法の日」です。

裁判所、法務省及び日本弁護士連合会では、毎年十月一日からの一週間を「法の日」週間とし、この週間の趣旨を理解していただくため、今年も全国各地で行事を実施します。

全国豊かな海づくり テーマ募集

1. 目的

海は古くから豊かな水産資源を供給するとともに、自然と親しむ場を提供するなど、私達の生活に大きな恩恵をもたらしてきました。

この海の自然を守り、「つくり育てる漁業」を推進し、次代につなぐ豊かで恵みある海づくりをめざし、昭和56年から「全国豊かな海づくり大会」が毎年開催されてきましたが、平成2年度に東北で初めて本県において大会が開催されることになりました。

この大会をきっかけとして、海づくりに対する県民の認識が一層深まり、本大会が有意義なものとして成功することを期待し、この大会にふさわしいテーマを募集します。

2. テーマの内容

豊かで恵みある、希望にあふれた海づくりがイメージされ、青森県水産産業の発展が連想されるもの。

3. 使用目的

第10回全国海づくり大会の各種広報活動などに広く利用させていただきます(大会ポスター、大会関係各種資料、大会記念誌等への掲載大会会場内の看板掲示等)

4. 応募資格

青森県内に居住又は勤務(在学)する者。個人、グループ等の制限はありません。

5. 応募方法

○官製葉書に大会テーマ(1編)を記載し、住所(または勤務先住所)、氏名(ふりがなつき)、年齢、職業(勤務先及び学校名・学年)、電話番号を書いて郵送してください。
○一人何点でも応募できます。

6. 応募締切

平成元年9月30日
(当日消印有効)

7. 審査

実行委員会が開催する審査会で厳正に行います。

8. 賞

○最優秀賞…1点
(賞状及び記念品)
○優秀賞……2点(同上)
○佳作……3点(同上)

9. 発表

入賞者には直接通知するとともに県広報誌等に発表します。

10. 応募作品の取り扱い

○応募作品は自作、未発表のものに限ります。
○入賞作品の著作権はすべて青森県に帰属します。
○応募作品は返却しません。

11. 送り先

〒030
青森市新町二丁目4番36号
社会福祉会館別館2階
第10回全国豊かな海づくり大会
青森県実行委員会事務局
Tel 0177-22-1111
(内) 4478
直通(73) 7731
(35) 2037

平成元年度 技能検定試験

1. 実施職種

さく井・機械検査・和裁・建築大工・配管・鉄筋施工・型枠施工・ガラス施工等35職種。

2. 受験資格

1級は12年以上実務経験年数を有するもの。
2級は3年以上実務経験年数を有するもの。
但し、学歴・訓練歴等により実務経験年数が短縮されます。

3. 受検料

○実技試験
7,500円から12,500円
(職種により異なります)
○学科試験
全職種とも一律2,300円

4. 実施日

○実技試験
平成元年12月8日(金)から平成2年3月4日(土)までの指定する日。
○学科試験
平成2年2月4日・11日・18日のいずれかの指定する日曜日。

5. 申込締切

平成元年10月16日(月)

6. 合格発表

平成2年3月29日(木)

7. 受付場所

◎青森県職業能力開発協会
Tel 0177-38-5561
〒030-01
青森市大字野尻字今田43の1
又は
◎青森県商工労働部
「職業能力開発課」
Tel 0177-22-1111
(内線2361)
〒030
青森市長島1丁目1番

国税だより

お年寄りや心身に障害のある人に対しては、税金の面でいろいろな特典が設けられています。

◎お年寄りが受けられる特典

○所得税の老年者控除
○公的年金控除

◎お年寄りを扶養している人が受けられる特典

○所得税の配偶者・扶養控除

◎心身障害者本人が受けられる特典

○所得税の障害者控除
○相続税の障害者控除
○特別障害者の贈与税の非課税
○心身障害者共済制度に基づく給付金の非課税

◎心身障害者を扶養している人が受けられる特典

○所得税の障害者控除
○特別障害者と同居している場合の配偶者・扶養控除

このほかに、心身障害者を雇用している事業所が受けられる特典もあります。

詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署にお尋ねください。

暮らしと電気安全

◎断線した電線には、さわらない

二百二十日は、立春から二百二十日目の日で二百十日の十日後の日です。

暦では9月11日頃に当たり、農業では昔から厄日として恐れられております。統計的にも二百十日以降9月下旬頃に台風が集中して発生、毎年日本の各地に風水害の被害を出しております。

台風による電気設備の被害は、電力会社から一般のご家庭まで多岐にわたりますが、身近なものは、家屋浸水による電気設備の冠水、電力会社の電柱の倒壊や断線があります。

断線した電線には、電気が流れていることがありますので、絶対に手を触れないでください。

9月 台風



断線した電線にはさわらない
(財)東北電気保安協会

消費生活 アドバイザー

消費者と企業の「かけ橋」として消費者の苦情や注文を企業経営に反映させる一方、消費者にも商品の安全などについて、適切なアドバイスのできる人材。

通商産業大臣の認定による資格で毎年一回、秋に認定試験が行われています。

受験資格は学歴、性別の制限はなく、満28歳以上の人であれば、実務経験の有無に関係なく受験できます。ただし満28歳以下でも、実務経験者は受験できます。

実務経験者とは、企業や公的機関において、

①消費者に直接対応している業務
②消費者向け広報に関する業務
③製品開発企画に関する業務
などに、1年以上にわたり週2日以上勤務経験のある人をいいます。

昭和55年度に発足した消費生活アドバイザー制度は、消費者のニーズを企業に反映させるユニークな制度として、各方面から期待が寄せられています。

資格取得のための通信講座も実施されています。

詳細は日本産業協会(03-501-7731)にお問い合わせください。

おしらせ

青年海外協力 隊員募集

青年海外協力隊員は、現地の人々と同じ言葉話し、同じところに住み、同じものを食べ、自らの利益を求めることなく、ひたすら開発途上国の新しい国づくりに協力しています。

青年海外協力隊事務局では、平成元年度秋の募集として下記の要領で隊員を募集します。

記

◇資格

20歳以上39歳まで(平成元年11月30日現在)の日本国籍を持つ青年男女

◇応募方法

青年海外協力隊所定の願書を協力隊事務局に期日までに提出

◇願書締切日

平成元年11月30日(木)
(消印有効)

なお受験票は12月上旬に発送しますが、12月14日(木)までに未着の場合は、協力隊事務局国内第2課まで、お問い合わせください。

◇募集規模

約150職種、約1,000名を42ヵ国、主な募集職種は右記に掲載

◇選考試験

第1次選考/筆記試験・技術、協力隊員適正テスト、英語
平成2年1月7日(日)
各都道府県で実施

1次合格発表日は1月25日(木)
第2次選考/面接試験・個人、技術、健康診断
平成2年2月13日(火)
～2月20日(火)の1日

東京で実施
2次合格発表日は3月2日(金)

◇訓練

合格者は約80日間の国内合宿訓練を終了後各任国に向け出発

平成2年度1次隊/
平成2年4月中旬訓練開始
7月中旬出発予定

平成2年度2次隊/
平成2年9月上旬訓練開始
11月下旬出発予定

平成2年度3次隊/
平成3年1月上旬訓練開始
3月下旬出発予定

(平成2年度3次隊は、未充足職種で、職場の関係で、平成2年度1・2次隊に参加できない場合に限る。)

◇派遣国

本人の希望は尊重しますが、受入先の職務・生活環境への適正および持っている技術と求められてい

る技術の幅・内容等を優先。

◇派遣期間

原則として2年間、条件が整えば延長も可

◇単身赴任

隊員は単身赴任です。

◇待遇等

現地生活費月額
265～505ドル
(派遣国により異なる)

住居は原則的には相手国政府提供または住居手当支給

その他に無職で参加の場合、本邦訓練期間中1ヶ月5万円、海外在任中1ヶ月9万円が積立られ、帰国時一括支給

訓練、派遣に係わる経費(含往復航空賃)および災害時保障等事務局負担

◇現職参加

企業、団体等に身分を継続した状態で協力隊に参加した場合、協力隊事務局が所属先に対し人件費の一部を補てんする制度があります。なお、現職参加の交渉は志願者が所属先とすることになりますが、一般的には受験前に相談すること勤務年数が一定数以上であること協力隊参加職種が業務と関連ある分野であること等を条件としている場合が多いようです。

◇目安となる技術・技能レベル

○農林水産部門

獣医師は、資格取得が絶対条件となります。また家畜飼育は家畜人工授精士の資格が必要となる場合があります。

○加工部門

この部門のほとんどが、職業訓練的要素を含んでいるため、技能士などの資格を取得しておくことが望ましいでしょう。

○保守操作部門

技能士などの資格を取得しておくことが望ましいでしょう。自動車整備関係では、2級整備士の資格が必要となります。

○土木建築部門

測量士、建築士、土木施工管理士などの資格が必要です。

○保健衛生部門

医師、歯科医師、看護婦、助産婦、保健婦、臨床検査技師、診療放射線技師、作業療法士、理学療法士、薬剤師などは、資格取得が絶対条件となります。

○教育文化部門

この部門は、資格が設定されていない職種が多い部門です。理数科教師を例にとりますと、教員免許を条件とする要請もあれば、大学卒業であればよいとする要請もあります。また日本語教師の場合は、日本人なら誰でも……と考えがちですが、実際には日本語教授法について専門的な勉強をしておくことが必要です。

○スポーツ部門

柔道、空手、合気道、などは、3段が一応の基準となります。その他では、体育系の学校卒業者が有利ですが、競技歴なども大事なポイントとなります。

*募集人員、内容等の詳細は、10月上旬に確定します。お気軽にお問い合わせください。

*問い合わせ先

青年海外協力隊
〒150
東京都渋谷区広尾4-2-24
Tel03-400-7261
青森県総務部文書課国際交流班
〒030
青森市長島1-1-1
Tel0177-22-1111
(内線2209)

部門	主な募集職種
農林水産	食用作物・稲作・野菜・果樹・病虫害・農業土木・農業機械・家畜飼育・養鶏・養蜂・獣医師・村落開発者及員・農産物加工・森林経営・漁具漁法・養殖
加工	陶磁器・竹工芸・木工・自動車板金・冶金・溶接・染色・印刷
保守操作	工作機械・冷凍機器・医療機器・電気機器・電気工事・電子機器・無線通信機・視聴覚機器・電子工学・電話交換機・電話統路・建設機械・船舶機関・自動車整備
土木建築	土木設計・土木施工・測量・建築・造園
保健衛生	医師・歯科医師・看護婦・助産婦・保健婦・臨床検査技師・診療放射線技師・作業療法士・理学療法士・薬剤師・養護・栄養士
教育文化	経済・システムエンジニア・視聴覚教育・家政・手工芸・婦人子供服・紳士服・音楽・日本語教師・理数科教師・理科教師・数学教師
スポーツ	体育・陸上競技・体操競技・水泳・卓球・バレーボール・柔道・空手

行政相談は お気軽に

10月15日から21日までの1週間「行政相談週間」が実施されます。

行政相談は地域住民が暮らしの中での行政全般に対する苦情、意見、要望に対して、行政相談委員が「無料」で「迅速」にしかも「秘密」を守り、親身になって相談に応じるところです。

記

日時 10月20日(金)
10時から15時まで
場所 役場3階中会議室
相談員 行政相談委員
工藤 清治氏
電話52-3398
内容 行政に関することすべて

今月の納税

固定資産税第3期
国民健康保険税第2期

金木病院カルテ④6

『救急外来の現況』

公立金木病院 三上俊郎
院長

北津軽地方救急医療の一環をになつてゐる金木病院救急外来、最近一年間(昭和六十二年四月一日から六十二年三月三十一日まで)の現況をお知らせします。

(I)平日の夜間救急外来

平日夜間診療は、午後四時四十五分から翌日の午前八時三十分まで受け付けます。①患者総数一千五百八十八名で、月平均百三十二・三名、日平均約三・六名の受診率でした。患者数の内訳は、内科五百二十八名(33・2%)、小児科四百八十九名(30・8%)、外科三百六十九名(23・2%)、および産婦人科二百四名(12・8%)でした。

②新患者数は六百六十九名(42・1%)、再来患者数

九百十九名(57・9%)で新患者に比較して再来患者が多く受診されました。

③患者の主症状および疾患を上位四つと其他に大別しますと、(1)発熱三百三十二名(20・9%)、(2)腹痛三百二十名(20・1%)、(3)外傷二百四十八名(15・6%)、(4)分娩百九十四名(12・2%)、(5)其他四百九十四名(31・2%)でした。

(II)土・日曜日および祭日の救急外来

土曜日は、午後十二時十五分から翌日午前八時三十分まで、また日曜日および祭日は、午前八時三十分から翌日午前八時三十分まで診察を受け付けます。

①患者総数二千二百二十名で、月平均約百八十五名で日平均約六・七名でした。

②新患者数は九百十六名(41・3%)で、平日夜間の新患者率(42・1%)に比較して少ないですが、六十三年一月の新患者数四百四十八名は、月間新患者数中最も多く、これはお正月を故郷で過ごす人に影響されたものと考えます。再来患者数は一千三百三名(58・7%)

で、平日夜間再診率(57・8%)に比較して多くみられ、特に連休の続く五月では二百十一名と月間のトップを占めて居りました。

③症状および疾患別順では(1)発熱五百七十六名(26・0%)、(2)外傷四百六十六名(18・3%)、(3)腹痛三百四十八名(15・6%)、(4)分娩百三十七名(6・1%)、(5)其他七百五十三名(34・0%)でした。

平日夜間患者の症状および疾患と比較して、外傷と分娩患者の多いのが特徴でした。

(III)急病患者は、平日は勿論土・日曜日および祭日を開かず何時でも診察を受け付けて居ります。六十二年度救急外来患者総数は三千八百八名で、その中六百一名(15・8%)が主として(1)中里消防署、(2)金木消防署、(3)車力分署、(4)市浦消防署、(5)稲垣分署、(6)小泊消防署の救急車により患者が搬送され、月平均約五十名、日平均約一・六名が診療を受けました。

傷病程度別では、軽症二百六十四名(43・9%)、

中症二百六十一名(43・3%)、重症七十六名(12・7%)で、意外に軽症例が多くみられました。

戸籍の窓

八月届出

おめでと

- 工藤 真大(智己) 金木
- 角田 美緒(隆) 金木
- 千葉安津沙(行雄) 金木
- 加藤 大貴(正弘) 金木
- 山崎 拓也(年廣) 金木
- 横山しのぶ(和幸) 金木

はじめまして



まさひろ 真大ちゃん
7月24日生まれ
体重2,850g
金木田町
工藤智己さんの長男



みお 美緒ちゃん
7月31日生まれ
体重2,690g
旭ヶ丘団地
角田隆さんの長女

おしあわせに

- 江刺家治(春治) 野辺地町
- 木村留恵子(サツ) 嘉瀬
- 佐藤 勝美(勘一) 中里町
- 夏坂 純代(富治) 金木
- 白川 豊光(定義) 金木
- 福士 恵子(岩蔵) 中里町
- 小倉 千佳(秀四郎) 嘉瀬
- 中野うた子(由夫) 木造町
- 今 竹人(キヨエ) 喜良市
- 長内 明美(津世作) 稲垣村
- 須藤 真央(キヌ) 金木
- 米谷 和子(ミイ) 喜良市
- 成田 剛寛(清明) 金木
- 木村るり子(文男) 五所川原

おくやみ

- 山田 サヨ(90) 金木
- 其田 清八郎(84) 川倉
- 太田 助七(93) 金木
- 白川 友道(69) 金木
- 須崎 りせ(93) 嘉瀬
- 長内 ナチ(89) 金木
- 高橋 ソメ(78) 川倉
- 竹谷 貞三(58) 金木
- 間山 義男(69) 川倉
- 山本 文幸(55) 金木
- 澤田 國美(58) 嘉瀬

◇おわび◇

金木だより八月号「おめでと」欄で山中慎司ちゃん(金木)が慎治になっていました。ここに訂正してお詫びいたします。

○広報広聴 係りから○

皆さんのすぐ身近にある情報について、何でもお知らせください。お待ちしています。

電話、手紙何でも結構。

役場企画室広報広聴係まで
電話53-2111(内24)